

7月21日(金)~8月6日(日)

第44回霧島国際音楽祭

第44回霧島国際音楽祭が、みやまコンセルをメイン会場として、県内各地で開催されました。今年、国内のトップ奏者たちで特別に構成される、キリンマ祝祭管弦楽団の公演や、世界的作曲家藤倉大氏のグリーンティー・コンチェルトの世界初演など、多彩なコンサートが開催されました。あわせて、本音楽祭の重要な柱であるマスタークラス(講習会)では、国内外の著名な演奏家を講師陣に迎え、国内外から参加した受講生たちが熱心に学ぶ姿が見られました。

また、4年ぶりの開催となるビュッフェパーティーでは、アーティストを含む参加者の皆さまが地元のおもてなしを堪能され、本音楽祭ならではの時間をお楽しみいただきました。



7月29日(土)~8月4日(金)

第47回全国高等学校総合文化祭 2023かごしま総文

第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)が開催されました。秋篠宮皇嗣殿下並びに悠仁親王殿下の御臨席のもと執り行われた総合開会式では、オリジナル劇など、高校生たちの力のこもった演出に、ご来場いただいた約1400人の観覧者から惜しみない拍手が送られました。また、県立博物館前から御楼門前までのかごしま文化ゾーンで開催されたパレードには、全国から集まった高校生約1500人が参加し、幕開けを華やかに彩りました。

以降、7日間にわたって演劇や放送、茶道や軽音楽など、22の部門大会が開催されました。県内外から多くの方々にご来場いただき、生徒たちの日頃の活動の成果をご覧いただくことができました。

開催に当たり、多大なご協力とご理解をいただきました多くの皆さま方に心から感謝を申し上げます。



8月6日(日)

ブラジル鹿児島県人移民115周年およびブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典

サンパウロ市内で開催された「ブラジル鹿児島県人移民115周年およびブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典」に出席しました。

1913年の創立以来、たゆみないご努力を積み重ね、幾多の困難を乗り越え、110周年という記念すべき年を迎えられたブラジル鹿児島県人会の皆さまに対し、深い敬意を表するとともに、県人会の皆さまの長年のご労苦をねぎらいました。また、あわせてブラジルにおいて鹿児島県人として活躍されてこられた方々への表彰をさせていただきました。

式典後は、記念祝賀会も開催され、県からの訪問団や県人会員の皆さまをはじめ、多くの関係の方々とともに、盛大にお祝いしました。



- 6月4日(日) 知事とのふれあい対話(始良市)
- 6月5日(月) 紺綬褒章の伝達式
- 6月7日(水) 長島町獅子島視察
- 6月25日(日) 「かごしま青年塾」開講式
- 7月3日(月) U20アジア陸上競技選手権大会で優勝した立迫大徳選手、2位の大山藍選手への訪問
- 7月4日(火) 令和5年春叙勲受章祝賀会
- 7月10日(月) ベトナム政府ファミン・ミン・チン首相との会談
- 7月11日(火) ベトナム・ハノイで県産品トップセールス
- 7月11日(火) ベトナム・ハノイで県産品トップセールス
- 7月20日(木) 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 炬火採火式・炬火リレー
- 7月21日(金) 第44回霧島国際音楽祭
- 7月24日(月) 第47回全国高等学校総合文化祭
- 7月29日(土) 全国知事会議in山梨
- 8月4日(金) 在サンパウロ日本総領事との意見交換会
- 8月6日(日) ブラジル鹿児島県人移民115周年およびブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典
- 8月20日(日) 知事とのふれあい対話(知名町・和泊町)
- 8月30日(水) 紺綬褒章の伝達式

7月11日(火)

ベトナム・ハノイで県産品トップセールス



イオンモールロンビエン店と、多くの日本産食品を取り扱う地元企業のAKURUHI(アクルヒ)グループのハノイ店を訪問し、店舗の視察や代表の方々との意見交換を行いました。

鹿児島県産、ブリ・カンパチ・うなぎなどの水産物、本格焼酎、黒酢など鹿児島県産の豊富な食材や、大島紬、薩摩焼など鹿児島県産の世界に誇る伝統的工芸品の魅力を紹介するとともに、県産品の取り扱いの拡大について協力を要請しました。

イオンベトナム北部代表とアクルヒの営業担当者は、「うなぎなどの水産物に特に販路拡大の可能性を感じる」「かごしま黒豚や甘めの調味料が興味深いので、次は鹿児島県の産地を訪れて取り扱いを考えてみたい」と述べられました。

意見交換を通じて、経済発展著しいベトナムでの市場拡大の可能性を改めて実感しました。今後とも、県産品の輸出拡大に向けて取り組んでまいります。

7月20日(木) / 21日(金) ~ 8月26日(土)

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 炬火採火式・炬火リレー



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の開催に向けて、炬火リレーを実施しました。

火打ち石により採火し、3つに分かれた炬火を、薩摩・大隅・離島の3コースに分かれて、総勢約4800人の県民の皆さまによるリレーでつなぐことができました。途中、台風の影響により、炬火リレーを実施できなかった市町村もありましたが、炬火イベント等の実施により、全市町村につながりました。

3つの炬火は、10月7日の国体総合開会式で再び一つの火となり、両大会を見守るシンボルとして、白波スタジアムの炬火台に灯されます。

県民はもとより、全国の皆さまにとっても素晴らしい、思い出に残る希望に満ちた大会となるよう開催準備に取り組んでまいりましたので、かごしま国体・大会について、ぜひ応援よろしく申し上げます。